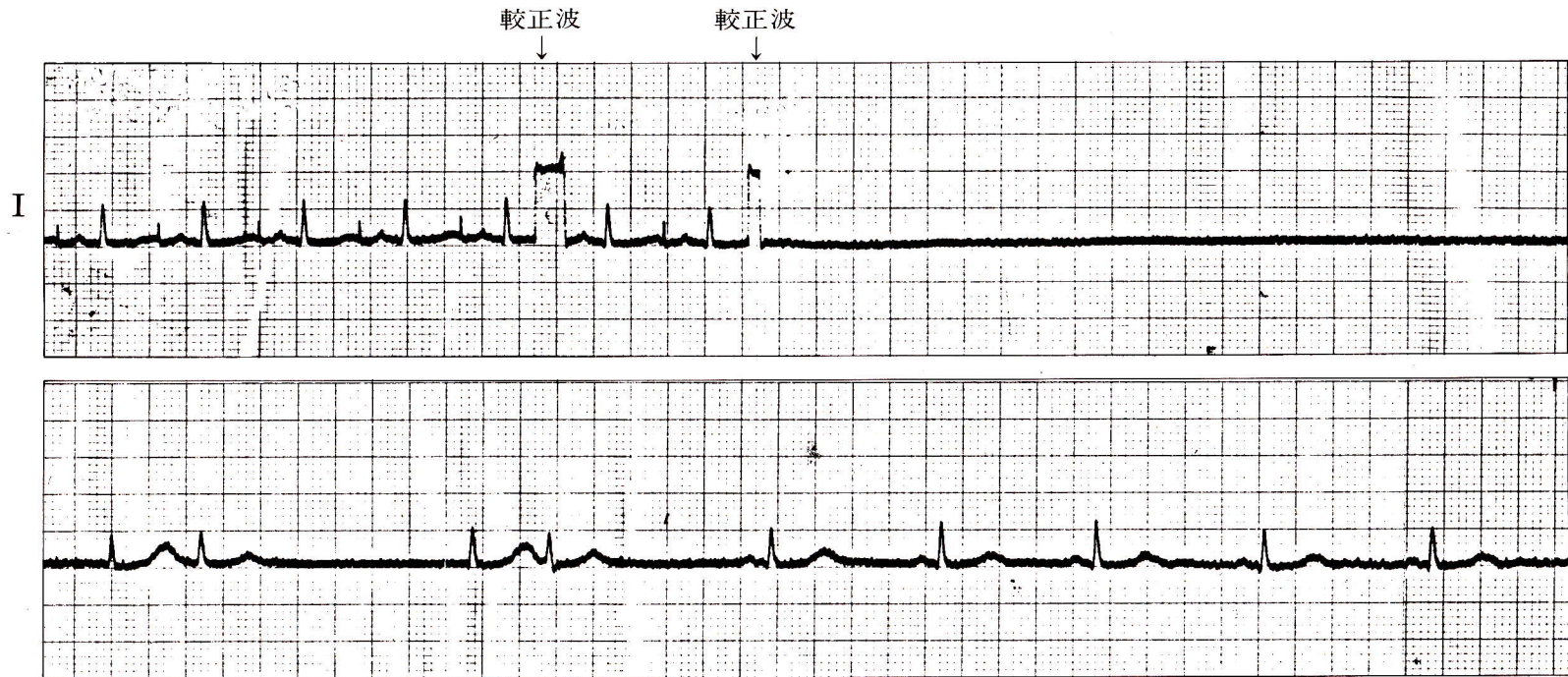


## 症例 12

●51歳 女

症例10と同一症例。この心電図は診断確定のために **overdrive suppression test** (頻回刺激による洞結節抑制試験) をおこなったものである。



1) このような症例 (sick sinus syndrome) の治療はどうすればよいか。

## 心電図診断

洞結節回復時間(sinus node  
recovery time = SRT) 延長

これは心房ペーシングであり、P波の直前にある小さな鋭いフレがペースメーカースパイク。ペーシング中止(off)後、5.2秒の間、P波は認められず。ペーシング中止後の最初の心拍はP波がなく、房室接合部性補充収縮と考えられ、洞調律の回復はペーシング後の第5拍目より。

## 解 説

SRTの正常は約1秒、**sick sinus syndrome**では4秒以上になる。この症例はSRTが5秒以上であり、**sick sinus syndrome**と診断された。

治療は徐脈型にはアトロピン、アロテック、イソプロテレノールの注射ないし経口投与を試みる。

徐脈、頻脈型は薬剤によるコントロールが困難な例が多く、徐脈に対しては心房ペーシングを行ない、同時に頻脈に対しては抗不整脈剤の投与を行なう。

	正 常
SRT (洞収縮回復までの時間)	約 1 秒
CSRT (SRT－基本RR間隔)	約 0.5秒
ART (自動能回復時間) (洞収縮以外の場合)	約 1.6秒

overdrive suppression test  
判定規準